

令和4年度(2022年度) 電動車椅子サッカー体験会

横浜F・マリノスと連携し、電動車椅子サッカーの日本代表選手を輩出する横浜クラッカーズの選手を招聘して、地域の子どもたちを対象とした電動車椅子サッカー体験会を開催しました。障がいのある方と地域の子どもたちの交流を通じて、障がいの有無は一つの個性であることや、一人一人の個性を大切にしながら地域の誰もがお互いに尊重しあうことの大切さを学びました。

- 日 時：令和4年11月8日（火）5、6時 限目 13:20～14:55
- 場 所：横須賀アリーナ メインアリーナ競技場
- 主 催：一般財団法人シティサポートよこすか
- 共 催：スポーツコミュニティよこすか
- 協 力：一般社団法人Fマリノススポーツクラブ
一般社団法人よこすかスポーツ・M学舎BAO
- 後 援：横須賀市、横須賀市教育委員会
- 講 師：横浜クラッカーズ
野田 拓郎 J日本電動車椅子サッカー ドリームマスター
三上 勇輝 2023 ワールドカップ日本代表
平野 誠樹 監督・元選手
- 対 象：鶴久保小学校 4年生（76名）、6年生（92名） 計168名
- 報 道：タウンニュース 11月18日（金）掲載



競技用電動車椅子の操作とルールを児童に説明する三上選手

足で蹴らないサッカー

鶴久保小の児童が体験

健弱者と障害者が共生 めて行われ、電動車椅子サッカーの実現を、ス子サッカーチーム「横浜ポーツを通して考える体 クラッカーズの平野誠樹監督が11月8日、鶴久 樹監督、日代表に選出された鶴久保小の4年生6年 生約170人を集 ながら講義を始めた。一般財団法人シティサポートよこすかのスポーツ文化振興事業「横浜ド・マリン」の運営を機を設けた。

「足で蹴らないサッカー」と呼ばれる同競技は、1チーム4人で編成。電動車椅子に乗りながらボールを蹴る。ゴールは5mと短い。足元に付けた金網製のガードにボールをぶつけてドリブルやパス、シュートを取り出す。選手同士が激しく衝突してボールを奪い合うこともあるなど、迫力のあるプレーが特徴だ。

三上選手が電動車椅子の操作を披露する大きな歓声があり、児童らが車椅子に乗って直線走行やスローム走行、シュートを体験する場面もあった。

■ イベント風景：

